



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月23日

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 6429

URL <http://www.taiyoelec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 英理子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 暢彦 (TEL) 052-502-9222

四半期報告書提出予定日 平成22年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,048	△61.8	4	△99.8	10	△99.6	3	△99.8
22年3月期第1四半期	10,610	107.2	2,499	534.0	2,498	524.7	2,095	443.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	0	17	—	—
22年3月期第1四半期	92	37	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	21,675		14,552		67.1	641	56	
22年3月期	22,814		14,895		65.3	656	69	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 14,552百万円 22年3月期 14,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	15	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	—	—	15	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	18,050	17.6	1,630	△46.1	1,640	△45.8	950	△60.1	41	88
通期	34,100	41.0	3,860	2.3	3,890	3.0	2,280	△37.4	100	52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報 (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要」をご覧ください。

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報 (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご覧ください。

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	22,833,748株	22年3月期	22,833,748株
23年3月期1Q	151,414株	22年3月期	151,414株
23年3月期1Q	22,682,334株	22年3月期1Q	22,682,334株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や生産に持ち直しが見られるものの、欧州の財政不安に端を発した為替、株式市場の混乱は続いており、先行き不透明感から企業活動も力強さを欠いております。また、依然として雇用情勢は厳しく、エコポイントなどの景気対策も効果が一巡し、個人消費は低迷した状況が続いております。

遊技機業界におきましては、景気低迷が続く中、低単価営業が幅広く普及しており、プレイヤー人口の減少傾向に歯止めがかか一方、遊技機ホール間の顧客獲得に向けた競争の激化が続いており、遊技機ホールは各メーカーが投入する数多くの新機種の中でも話題性・ゲーム性が高く集客力の見込める遊技機を選別する姿勢を一層強めております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

第1四半期累計期間のパチンコ機につきましては、「CR真・本能寺の変～夢幻の如く～」(平成22年3月発売)の継続販売を行ったほか、モンキー・パンチ原作の「シンデレラボーイ」を題材とし、遊びやすさを追求した「CRシンデレラボーイ2～シンデレラコードを奪還せよ～」シリーズ(平成22年5月発売)を販売いたしました。

パチスロ機につきましては、販売を戦略的に第2四半期へシフトした当期の有力タイトルであります「リングにかける1～黄金の日本Jr.編～」は、既に財団法人保安電子通信技術協会の適合を受け、販売活動に着手しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の販売台数は、パチンコ機 13,466台(前年同期比 20,782台 減)、パチスロ機 252台(前年同期比 252台 増)となり、売上高は、40億48百万円(前年同期比 65億62百万円 減)となりました。

また、利益面につきましては、引き続き適正数量の部材発注をするとともに、広告・販促費の抑制など経費の削減に努めたものの、当第1四半期累計期間は、パチンコ機13千台の販売に留まったことから、営業利益は、4百万円(前年同期比 24億95百万円 減)、経常利益は、10百万円(前年同期比 24億88百万円 減)、四半期純利益は、3百万円(前年同期比 20億91百万円 減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

資産は216億75百万円(前期末比 11億38百万円 減)となりました。これは主に、生産能力の拡大を目的とした瀬戸工場の取得により有形固定資産が20億43百万円増加したものの、一方で受取手形及び売掛金が18億99百万円、有価証券が10億円、それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

負債は71億23百万円(前期末比 7億95百万円 減)となりました。これは主に、未払法人税等が5億81百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は145億52百万円(前期末比 3億43百万円 減)となりました。これは主に、利益剰余金が3億36百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、104億51百万円(前期末比 1億93百万円 減)となりました。当四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は12億31百万円であります。これは主に、法人税等の支払額5億58百万円があったものの、一方で売上債権の減少額18億99百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億72百万円であります。これは主に、有価証券の減少額10億円があったものの、一方で有形固定資産の取得による支出20億96百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億52百万円であります。これは主に、配当金の支払額3億34百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成22年5月11日に公表いたしました業績予想と変更ございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

② 棚卸資産の評価方法

当四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。

なお、法人税等調整額につきましては法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,451,502	10,699,788
受取手形及び売掛金	2,721,991	4,621,903
有価証券	1,000,000	2,000,000
商品及び製品	—	28,186
仕掛品	442	4,467
原材料及び貯蔵品	1,111,468	1,148,446
その他	519,855	515,603
貸倒引当金	△1,400	△3,200
流動資産合計	15,803,860	19,015,196
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,028,830	746,111
工具、器具及び備品(純額)	926,690	823,672
土地	1,255,563	883,965
その他(純額)	559,261	273,172
有形固定資産合計	4,770,346	2,726,922
無形固定資産	112,370	80,729
投資その他の資産		
その他	1,004,023	1,008,333
貸倒引当金	△14,813	△16,712
投資その他の資産合計	989,210	991,620
固定資産合計	5,871,926	3,799,272
資産合計	21,675,787	22,814,468
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,781,955	3,742,377
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	13,777	595,313
賞与引当金	118,547	172,981
役員賞与引当金	15,000	60,000
その他	1,087,572	1,218,868
流動負債合計	6,016,852	6,789,539
固定負債		
退職給付引当金	71,192	78,822
役員退職慰労引当金	815,058	802,104
その他	220,674	248,731
固定負債合計	1,106,925	1,129,658
負債合計	7,123,778	7,919,198

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,125,142	5,125,142
資本剰余金	5,161,314	5,161,314
利益剰余金	4,320,594	4,656,923
自己株式	△64,955	△64,955
株主資本合計	14,542,096	14,878,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,913	16,845
評価・換算差額等合計	9,913	16,845
純資産合計	14,552,009	14,895,269
負債純資産合計	21,675,787	22,814,468

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	10,610,529	4,048,109
売上原価	6,418,074	2,491,927
売上総利益	4,192,454	1,556,181
販売費及び一般管理費	1,692,901	1,551,648
営業利益	2,499,553	4,533
営業外収益		
受取利息	3,120	3,910
受取配当金	1,132	2,791
その他	4,272	5,874
営業外収益合計	8,525	12,576
営業外費用		
支払利息	7,966	5,324
支払手数料	1,525	1,402
その他	223	50
営業外費用合計	9,715	6,777
経常利益	2,498,363	10,332
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,799
特別利益合計	—	1,799
特別損失		
固定資産除却損	5,656	2,078
投資有価証券評価損	30,330	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,147
特別損失合計	35,987	3,225
税引前四半期純利益	2,462,375	8,906
法人税、住民税及び事業税	367,210	5,000
法人税等合計	367,210	5,000
四半期純利益	2,095,165	3,906

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,462,375	8,906
減価償却費	171,263	148,301
有形固定資産除却損	5,656	2,078
貸倒引当金の増減額(△は減少)	223	△1,799
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,862	△54,434
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△45,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,779	△7,630
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,395	12,954
受取利息及び受取配当金	△4,252	△6,701
支払利息	7,966	5,324
投資有価証券評価損益(△は益)	30,330	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,472,860	1,899,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	941,104	69,189
仕入債務の増減額(△は減少)	2,655,981	△46,901
その他	375,471	△194,781
小計	4,177,571	1,789,416
利息及び配当金の受取額	4,934	6,010
利息の支払額	△7,903	△5,209
法人税等の支払額	△16,102	△558,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,158,500	1,231,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	45,000	55,000
有価証券の増減額(△は増加)	—	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△418,208	△2,096,943
ソフトウェアの取得による支出	—	△22,455
その他	△4,676	△7,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,885	△1,072,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△24,462	△18,554
配当金の支払額	△99,723	△334,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,186	△352,749
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,656,428	△193,286
現金及び現金同等物の期首残高	9,239,901	10,644,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,896,329	10,451,502

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。